

US Cup #1 - Bonelli Park - San Dimas

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 平野 星矢

結果 40 位

開催日 3月14日(土)

開催地 アメリカ合衆国 カルフォニア州 San Dimas

天候 晴れ

コースプロフィール / コンディション

路面は固めの土で出来たジョリジョリ系。シングルの所々で路面が掘れ、土はパフパフの浮いた状態。

周回数は7周回+スタートループ1周。

レポート

今回の調子はそんなに悪くは無い。

身体もだいぶ回復をして来て、だいぶレースを走るための精力が湧いて来ている。

自分の中のイメージも悪く無い。

レースはスタートから積極的に走って、スタートループは良いポジションで進んで行く。

1周回目に入り、順位は少しずつ後退。正直 身体が付いて来ない。

スタートは積極的に行けた分、ポジション的に周りのペースが早い。反動も大きい。

我慢してコース後半のフラット区間に向け耐えるものの、まさかの試走コースと違うコースに入り、上りが続く。結局試走したフラット区間は今回のコースには含まれておらず、息を整える場を失い失速。

ペースをガッツリ落として息を整えるが、なかなか身体は戻って来ない。

今回は身体が回復した分、スタートはガッツリ行けるものの、反動もまた大きい。

いつもは高強度のインターバル・トレーニングにて、その反動への抗体を作るのだが、今回はその準備をする時間と余裕を持っていない。

その後も身体は回復する事は無く、カスカスと進んで行く。

猛暑と激しい砂埃の中でのレース。喉もカリッカリで、脱水気味。

身体は久しぶりのフレッシュ走行で一瞬にして脚も終了。呼吸も苦しくて目眩もする。

今回はタイム差がそんなに無いと読み、エスケープを利用していたのだが、それも良い選択では無かった。

しかし今回は久しぶりに身体が苦しくて、何かを考える余裕が無い。これに関しては良い傾向。これでやっと身体が戻って来る。

今回は乳酸をしっかりと感じる事が出来る。一見同じように見えるが、内容は違う。

乳酸は出し慣れてしまえば調子が良くなるが、筋疲労は蓄積されるだけで慣れるものではない。

レース中は明るい展望を考える余裕が無いまま、80%カットで終了。

でも、ここから調子が上がって来るという感覚とイメージが確りとあるので、今週のインターバルと来週末のレース US Cup 第2戦目は楽しみにしている。

使用機材

バイク ANCHOR XR9(S サイズ)

コンポーネンツ SHIMANO XTR

ホイール SHIMANO XTR

フォーク SR SUNTOUR AXON 100mm(サンツアー) 75bal

ハンドル SHIMANO PRO XCR カーボンワイド・660mm バックスweep 9°

ステム SHIMANO PRO XCR ステム 110mm -5°

シートポスト SHIMANO タルシス

ケミカル [ホルメンコール](#)

サングラス アディダス イーブルアイ・ハープリムプロ

ヘルメット KABUTO(OGK)ゼナード

グローブ KABUTO (OGK) EXG-3

シューズ SHIMANO SH-XC90L

ウェア Wave One ワンピース半袖タイプ・靴下(赤/白)

サプリメント SAVAS(明治製菓)

SAVAS ウォーター ボトル2本

ピットインゼリーバー 1本